

各位

アスパラガスの台風後対策について（6号）

R5.8 アグリ技研（株）

1.通過後対策について

- ・ビニールの破損や事前に降ろした場合は、茎葉の乾いた状態で早急に被覆する。
（茎葉の濡れた状態の被覆は、高温での葉ヤケとなり枯れの誘発となる）
 - ・施設の破損等は、早急に復旧作業を行う。（パイプ・ビニール）
 - ・施設内に浸水している場合は、早急に排水と乾燥に努める。
 - ・茎葉の乾燥後に薬剤防除を行う。（葉面散布肥料混用）
- 《茎葉の乾いた状態で「斑点・褐斑・茎枯れ」と「ダニ・ヨトウ類（シロイチモジ）」》
- ◎ ダコニール 1000・シグナム WDG・アフェット F」など
 - ◎ グレーシア・コテツフ F など（登録剤を参考に）
- ・草勢回復にコラーゲン・ラボの 500～800 倍（やや薄く）で葉面散布を行う。
 - ・根域の動きを良くするのにアミクエ 5～10 kg/10a（灌水）を 5 日置きに施肥。
 - ・強風等で倒伏の場合は、株元を押さえて再度誘引、引き起こす。
 - ・強風で茎葉の損傷している場合は、枯れ込んで来てから除去整理する。
 - ・追加立茎する場合は、なるべく早めに行って茎葉展開させ本数の確保をする。
- 《春芽の収量安定のためには、今後の草勢維持に努めましょう》